

営農技術情報

一畑作(大豆⑥)一

令和元年 8月14日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～カメムシ・ハダニの発生に注意して下さい！～

大豆ほ場で、カメムシおよびハダニの発生が見られています。

カメムシは、莢に寄生し、肥大中の子実を吸汁します。吸汁された子実は、収穫時に症状が見られなくても、煮豆等に加工された場合に「黒いしみ」がつき、クレームの原因となります。

ハダニは、葉の裏に寄生し、密度が高くなると、糸を張って銀色の模様が見えるようになります。葉の表面はごわごわし、まだら状に黄化します。ほ場周囲から黄化が進むことが多く、徐々に内側に拡大します。

ほ場での発生状況を確認の上、防除を実施して下さい。

【防除薬剤例】（登録内容は令和元年8月13日時点）

対象害虫	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
カメムシ類	バイスロイド乳剤	1,000倍	7日前	3回以内
マメシンクイガ	エルサン乳剤	1,000倍	7日前	2回以内
アブラムシ類	スミチオン乳剤	1,000倍	21日前	4回以内
ハダニ類	ダニトロンフロアブル	1,000～2,000倍	7日前	1回

農薬の安全使用について

- 農薬散布に当たり、近接する作物へ飛散しないように十分注意しましょう。
- 農薬は必ずラベルを読み、収穫前日数・回数等を確認し、適正に使用しましょう。